

新高退通信 No.141

HP : shin-koutai.jimdo.com

mail : shin.koutai@gmail.com

五者合同同学習会



zoomで講演の石橋学さん



憎悪のピラミッド(出典:Anti-Defamation League)

「ヘイトスピーチは止めないといけない」
先入観による行為（冗談・うわさ）から始まる「憎悪のピラミッド」は、次の偏見による行為（ヘイトスピー

チ）→差別行為→暴力行為→ジエノサイドになる。
石橋さんは、ナチスによるユダヤ人大虐殺や関東大震災時の朝鮮人虐殺などを例にあげ、下の段階で止めなくてはならないと述べた。

「ヘイトスピーチは続く」

歴史の反省から1965年人種差別撤廃条約が作られたが、日本

大阪など全国各地で在日（コリアン）を標的にしたヘイトデモの様子を動画で紹介した。2016年によくヘイトスピーチ解消法施行されたが、これは差別をなくすための施策は自治体任せという不十分なものであり、実効性は薄いものであった。

「川崎市・桜本地区のたたかい」

川崎市桜本地区は、在日の住民が地域の小学校の運動会で朝鮮半島に伝わる農楽「パンムルノリ」の披露やキムチ作り体験授業など多文化で共生の街の在りようを描き出している。

川崎市も神奈川県警もなんら対策を講じることなく、ヘイトデモを許可し、護り続ける中でエスカレートしたデモは桜本地区に押しかけた。ヘイトデモに対するた

日退教五者合同同学習会（zoom開催）

石橋学氏講演「ヘイトスピーチ根絶への次の一步を」を聞く

事務局 石野



発行所／新潟県高等学校教員組合 新潟市中央区川岸町2-11/T E L (265) 4151/F A X (231) 1036 / 1部10円 (購読料は組合費に包含)

発行人 吉田 裕史

2021年12月1日
号外

新潟県高等学校
退職者の会
事務局 T 951-8133
新潟市中央区川岸町2-11-4
(高校会館内)
退職者の会専用電話
025-265-1110

が締結したのは村山政権下の1995年だった。しかし、日本は法律で規制するほど深刻な差別はないとして、第4条の(a)(b)人種差別行為や扇動を「法律で処罰すべき犯罪」とすることを留保している。

在特会などによる京都や東京、

大阪など全国各地で在日（コリアン）を標的にしたヘイトデモの様子を動画で紹介した。2016年

によくヘイトスピーチ解消法施行されたが、これは差別をなくすための施策は自治体任せという不十分なものであり、実効性は薄いものであった。

しかし、体を張った抗議行動で中止させても、デモは川崎市によって許可され、警察は道交法によつてデモを護り、抗議の市民を規制する。このような中、日本の法制度史上初めて、「差別は犯罪」として、ヘイトスピーチを繰り返した人物に刑事罰を科す「川崎市条例」が2019年に成立した。

一方、脅迫文が多文化共生施設「川崎市ふれあい館」の館長宛に送りつけられるなどのヘイトクライムは続く。

石橋さんは「差別は犯罪となつた。いよいよ中立の立場はない」と、決意を述べた。そして、「差別を無くすため川崎のたたかいを皆さんのが地元に広げてください」と結んだ。

(石橋 學さん・神奈川新聞社
川崎総局編集委員)

第47回臨時県委員会(1977)

8・11)での「新潟県高等学校希望奨学金協会」の設立、決定を受け、第1回希望奨学金選考委員会(1979・1)が開催され、301名を選考して第一歩を踏み出しました。

危機的なコロナ禍下の8月5日に開催された第44回希望奨学金選考委員会での79名をもって、これまでの受給者は公私立校生、6346名(卒業の2023年まで受給)。

通常の「一般給付」の枠以外に、東日本大震災・東電フクシマ原発事故、コロナ災禍での「臨時給付」もありました。)と
いう記録を43年の歩みに刻んできましたが、ここに終止符が打たれることになりました。

文部省が小中高に教務、生活、健康の3部長制(主任制)構想を発表(1975・10)する
と、翌年の3月に「学校教育法施行規則」が改正され、主任当支給の給与法が成立し、人事院は主任手当支給を勧告しました。

希望奨学金、43年の歩み

公私立校生、6346名に

木村 昭雄

た。(1978・1)

「人材確保」という大義で職制の多層化・管理強化を企図する攻撃に、日教組は主任手当粉碎の「非常事態宣言」を発し(1975・11)、半日ストライキ、教育白書運動、全国統一ストライキなどを配置しました。また、総評は、

統一ストライキの一環として2時間ストライキを配置し、33都道府県で実施されました。

主任制反対、撤回の動きは、瞬く間に全

国に広がりを見せ、県内でも結成され間もなくの「教育を良くする新潟県民会議」をはじめとする諸民主団体の広範な支援を得て主任制反対、撤回の運動の輪は広がりましたが、政府の主任制導入の攻撃を撤回させることは出来ませんでした。

1979年3月時点での主任手当の拠出者状況は、組合員705人(99.7%)、非組合員164人(79.2%)で、未提出者数は組合員2人(0.3%)。非組合員43人(20.8%)と、現況では考



えられない数字となっていますが、

「ながら条例」廃止、自己評価制導入、教育基本法改正、学校の統廃合などによる状況の激変などにより組織率の低下が顕在化し、奨学金給付に陰りが予測、危惧される状況になつてきましたので、第88回定期大会(2018・6)での「主任手当の拠出を止め、希望奨学金協会事業の停止に移行する」の決定を受けて、希望奨学金協会に運用を一任②県内高校生の奨学金に充当する③奨学生は経済的な事情で就学困難な生徒を優先する、の決定事項を受けて、新潟県高等学校希望奨学金協会は、全国で同じような取り組みが減る中で、新高教はその持続、継続に腐心し、教育権の保障に取り組んできました。

東京五輪の「狂騒」に列島が揺れ、コロナ禍の危機的な拡大による「子どもの貧困」、ヤングケアラーの増幅を見てとれる経済格差と、これに連鎖しての教育格差の拡大というゆゆしく、病める現況の中での最終の選考委員会は、一選考委員、主任手当の一元拠出者として複雑な想いに駆られるものとなりました。

新潟県高等学校退職者会の枠での一選考委員、主任手当の一元拠出者として複雑な想いに駆られるものとなりました。

総評解散・連合誕生、「ながら条例」廃止、自己評価制導入、教育基本法改正、学校の統廃合などによる状況の激変などにより組織率の低下が顕在化し、奨学金給付に陰りが予測、危惧される状況になつてきましたので、第88回定期大会(2018・6)での「主任手当の拠出を止め、希望奨学金協会事業の停止に移行する」の決定を受けて、希望奨学金協会に運用を一任②県内高校生の奨学金に充当する③奨学生は経済的な事情で就学困難な生徒を優先する、の決定事項を受けて、新潟県高等学校希望奨学金協会は、全国で同じような取り組みが減る中で、新高教はその持続、継続に腐心し、教育権の保障に取り組んできました。

東京五輪の「狂騒」に列島が揺れ、コロナ禍の危機的な拡大による「子どもの貧困」、ヤングケアラーの増幅を見てとれる経済格差と、これに連鎖しての教育格差の拡大というゆゆしく、病める現況の中での最終の選考委員会は、一選考委員、主任手当の一元拠出者として複雑な想いに駆られるものとなりました。

■ 分校・定時制時代(リレートーク/10) 「六日町高校五日町分校の思い出」

滝沢直行 (02) 魚沼支部



私は1974年から4年間六日町高校五日町分校に勤務しました。生徒の思い出を中心に五日町分校時代を書いてみたいと思います。

当時始まった「確認書人事」で五日町分校に行きました。当時は都市部に勤務するとなかなか異動せず、人事が滞る状況があつたと思ひます。そこで県は定時制や職業高校に年数を限つて異動させ人事の活性化を図かろうとしたと思ひます。私は五日町分校に4年間勤務すれば異動できますという「確認書人事」での異動でした。

五日町分校は夜間定時制であり、生徒の人数も教員の人数も少ないので付き合いも深く濃く、思い出はたくさんあります。

当時の分校の様子をまず書きました。分校には体育館が無く、体育の授業は歩いて十分ぐらいかかる小学校の体育館を使って授業をしていました。驚きました。2年後に体育館が竣工し喜びました。部活もお陰で活性化しました。

ミントンがブームになり放課後は生徒・職員が一緒にゲームに興じたものです。私は卓球部の顧問で教室に卓球台を出して部活を行いました。3年生、4年生で担任をした生徒の中に2人大変うまい生徒がいて定時制の大会で立派な成績を収めました。

私が3年、4年と担任した生徒の中でこんな生徒がいました。

4年生の時結婚し、秋に赤ちゃんが生まれました。産前・産後は学校を休みました。旦那さんと仲間の生徒が彼女の登校・勉強を支えました。無事生まれたときクラスで祝いました。秋に九州に学旅行に行つた時、宮崎の鶴戸神宮で安産のお守りを皆で買ったことを覚えていました。全日制には考えられぬ事ですが定時制は多様性・幅広さ・個の尊重の姿がありました。

卒業後近くの料理屋の2階で結婚式を挙げました。私も招待され祝辞を述べたことを思い出します。

六日町高校全日制で2年間日本史

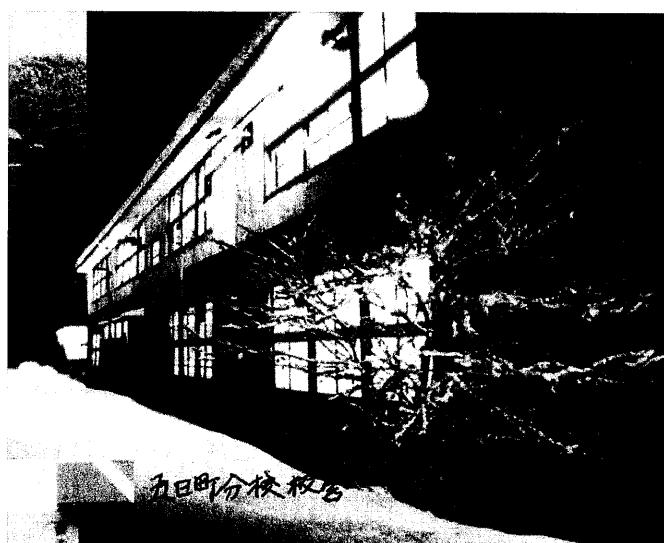
を教えることになつたのも感慨深いことでした。同じ学年の女子生徒の娘さんもやはり18・19年後、日本史を2年間教えることになりましたが、非常に成績がよく、東京の難関私立大学に進学しました。

私が最初に持つた4年生の中に優秀な生徒が居て、現役で駒沢大学に入学しました。彼は中学の教員になろうと頑張りました。私も相談を受けアドバイス・支援をしましたが残念ながら希望はかなえられませんでした。今は家業を継いで地域に貢献しています。同じ学年の女子生徒で小千谷の准看護学校に入った生徒がいました。

彼女は准看入学後、勉強・仕事に苦しんだ時があり、私に電話でよこしました。私は何度も小千谷に行き、ひたすら彼女を激励しづけました。彼女は准看を卒業しました。人間ドックで小千谷総合病院に行つた時、偶然廊下で会いました。落ち着いた雰囲気のベテラン看護師になつていきました。

分校は人数も少なく、在

学中も卒業後も付き合いがありますので思い出がたくさんあります。



五日町分校校舎

雪夜の五日町分校校舎

退職を迎えて佐渡支部
城塚敏道(20)新採用 中条
高校(5年)、
吉田商業高校
(6年)、新潟北

過ごしています。が、一つだけ新たに始めたことがあります。それは、野菜作りです。忙しくてやめていたのですが3月からまた始めました。休みの日はほぼ畑仕事をしています。次々生える雑草、新芽を食べる虫、赤くなるとつつく鳥などなかなかうまくいきませんが、悪戦苦闘しながらなんとか無農薬で不揃いの野菜を食べることができます。これはこれからも続けていきたいと思っています。

年金生活まであと3年。このままで、やることが少なすぎてぼけてしまいそうなので、3年間の間にどう生活するかを考えなければなりません。新型コロナがこれからどうなるのかも大きく左右しそうです。安全に自由に旅行ができるようになれば、いろいろと行きたい所はあるのですが、今はどうすることもできません。いい方向に進むことを期待しています。

さて一昨年前にコロナが発生し臨時休校が行われていた頃に、職員の間で校内ウォーキングが流行しました。私も運動不足を解消するため、ちょうど準備室脇に4階までの階段があつたので昇降を始めた途端、左膝に激痛が走り整形外科へ。すると階段昇降は体重の7倍の負荷がかかるので、平地歩行を勧められました。予想外の老化現象が突然やつてきました。これをきっかけに体重減と有酸素運動で少しづつ膝の回復を目指しました。

健康を土台に生活づくり

県央支部 泉田啓子(20)

勤務し定年を迎え、現在は白根に再任用短時間勤務をしています。組合には採用と同時に加入し、リーダーシップをとるタイプでないのに、常に「すみっこ」に存在し、情報を活用させていただいていました。

しかしながら、分会の女性部長が輪番で回ってきた時は、かなりハッスルして茶話会・食事会を企画しました。美味しいものを食しながらの情報交換は、実り多かつたと思っています。コロナ禍や働き方改革の影響で、最後の最後に実施を、なかなかできなくなってしまった。そして定年なので、『時代の変り目』を強く感じました。

終わりに高等学校退職者の会の先輩の皆様豊かな生活のヒントを、こちらの通信でたくさんお知らせいただけたら幸いです。どうぞよろしくお願ひいたします。

退職し、やっと一般人に戻ることが出来ました。

県央支部 宇佐美博康(20)

大学卒業後、
講師(柏崎商
高)と3カ月間

の菓子製造工場アルバイトを経て、安塚高校を皮切りに教員生活を開始し、36年間、端から見れば怪しげな「先生」稼業を全うすることが出来たのは、誰よりも私自身が驚いています。

そもそも私は人間として生きる信念、信条を持たず何となく人生を送つて来ました。高校卒業後の進路決定然り。とはいって、その時々にはそれなりに考えたり、苦悩したり、決していたが、常常

後に振り返ると、問題の核心から逃げていい加減に立ち回った末、今に至っていると思います。

この36年間、教員の本業である授業、生徒指導、部活動指導、更に組合活動等、確かにやりがいがあり充実していたと思いますが、これは私自身の意思、能動的行動によつてもたらされたものではありません。ひとえにたまたま巡回会った生徒、同僚、関係各所、保護者の皆様方からの恩恵に他なりません。私は空っぽのまま歳を重ね、沢山の方々からフォローしていただいて退職の日を迎えることが出来ました。

退職後はこれ以上、皆様方の温情に頼つて醜態をさらしながら教育現場にいるべきではないと、初めて主体的に己のあり方を決定しました。タイトルのように、無職一般人として日々を過ごしていました。悪天候以外は県央地区を中心自転車に乗つてうろうろしていますので、見かけたら声掛けやあるいは交通の妨げと判断したら、罵声の浴びせかけも受容しますのでよろしくお願いします。

この10年、雜感

上越支部 山岸幸行 (11)

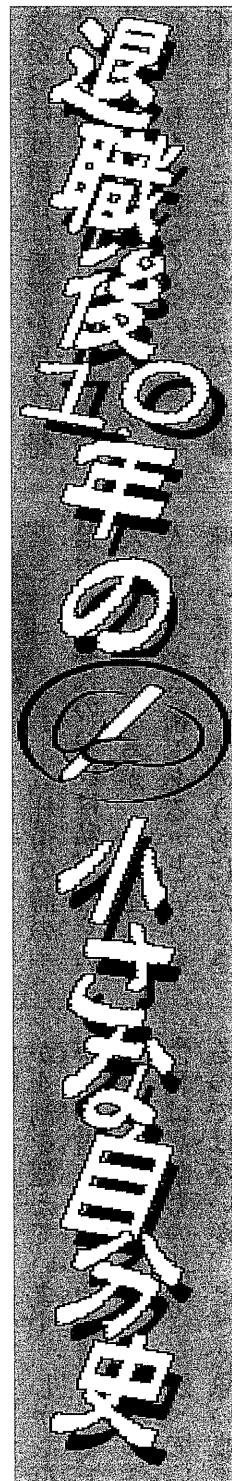


振り返つてみますと両親の見

守りと講師生活が中心の10年間

でした。上越支部の皆さんには、役員をお引き受けしていくも十分なお手伝いもできず随分ご迷惑をおかけしてきました。この場を借りてお詫びいたします。

次女が中学時代不登校気味になりました。私立の高校にお世話になりました。その御恩がえしになればと講師を引き受け6年。先生方の厳しい勤務実態を見るにつけ、何とか力添え出来ればと踏ん張つてきましたが、40人の生徒を相手にするにはいささかパワーが足りずギブアップしてしまいました。現在は、どうしても依頼された古巣南城高校の通信制で4単位を受け持っていますが、こちらも3月で辞めさせてもらう予定です。



癪癪を起こして何度も救急車にお世話になった父親は、今年1月に息を引き取りました。母親は心臓の弁の具合が悪くなり「疣贅」が脳に回つてしまい、話すことも食べることもできなくなり、現在は施設にお世話になっています。

生まれ育つた村から移住して60年。先祖の足跡を調べようとした古文書の解説は、支部の古文書同好会のご指導をいただきながら8年目に入りました。少しでも安全な野菜を口にするべく始めた畠仕事は四年が経過しました。これからも身体と氣力の続く限りあくせくしながら生きていこうと思つております。

「現役」時代を振り返つてみると、新卒の羽茂高校の、のどかで大らかな時代が夢のようです。祭りの晩に生徒たちに誘われて踊つた佐渡おけさ、いか釣りの漁火、小木の場末の酒場、荒海に挑戦して挫折し命からがら浜にたどり着いた「真野湾水泳横断計画」などが断片的に脳裏に浮かんできます。

次の村上女子、村松では、侃侃諤諤の職員会議の情景がよみがえります。村松、新津時代はまだ休日に先生方と山菜採りや、岩魚釣り、スキーなどに出かける余裕がありました。村松、新津の登山部で行つた利尻、大雪、檜、飯豊などの山旅も懐かしい思い出です。

近況と「現役」時代を振り返って

新津支部 宮崎一郎 (11)

退職後の10年は、過ぎてみれば一瞬でした。老化は徐々に進

あれから、日本経済が右肩上がりだつた時代が終わり、少子化、デジタル化など学校を取り巻く環境も激変しました。江南の後半から万代の頃になると教員は「結果」を求められ勤務時間を超えた部活や土曜講習は当たり前で、不適応やいじめの対応にも追われるようになりました。血圧の薬を飲み始めたのはこの頃です。でも、今はもっと大変だという声が現場から聞こえてきそうです。先生も生徒も疲弊していなければいいのですが。

最後に宣伝で恐縮ですが、退職してから(アジア・太平洋)戦争に関する文献や資料を読み漁つてきました。その関連で読み始めたThe Garden of Evening Mistsという小説の翻訳が運よく出版社に採用となり、近々刊行される予定です(「夕霧花園」(彩流社))。マレー侵犯に関わる戦争の記憶と和解という重いテーマを扱った作品で、売れる本ではありません。拙訳ですが興味のある方はどうぞ(原書が映画化されました。マレーシア映画)。

しかし、両親が90歳を過ぎた頃から少しづつ手伝うことが増え、気がつけば旅行は新潟から2時間半の韓国のみ。夕方からの食事会、飲み会からも足が遠のいた。が、自分でも不思議なくらい、それを不満に思うことはなかった。退職

み始めたのはこの頃です。でも、今はもっと大変だという声が現場から聞こえてきそうです。先生も生徒も疲弊していなければいいのですが。

最後に宣伝で恐縮ですが、退職してから(アジア・太平洋)戦争に関する文献や資料を読み漁つてきました。その関連で読み始めたThe Garden of Evening Mistsという小説の翻訳が運よく出版社に採用となり、近々刊行される予定です(「夕霧花園」(彩流社))。マレー侵犯に関わる戦争の記憶と和解という重いテーマを扱った作品で、売れる本ではありません。拙訳ですが興味のある方はどうぞ(原書が映画化されました。マレーシア映画)。



雜感

新潟支部 橋本順子 (11)

退職して10年

になった。漠然

と思い描いてい

た「退職後の生

活」とはかなり違つた10年だった

気がする。

まずは考へてもいなかつた非常勤講師を経験したこと。退職を前にした1年があまりに楽しく、そのまま学校を離れるのがもつたいなくなつてのことだつた。面倒な仕事は一切なく、ただ楽しく授業することだけを考えればよい日々は申し訳ないほど面白かった。

二つ目は時間に余裕ができ、毎日実家の両親の世話に通うようになつたこと。と言つても一人で元気に暮らす両親にはちょっと手を貸す程度で良かつたから、それまで行けなかつた国へあちこち旅行した。

しかし、両親が90歳を過ぎた頃から少しづつ手伝うことが増え、気がつけば旅行は新潟から2時間半の韓国のみ。夕方からの食事会、飲み会からも足が遠のいた。が、自分でも不思議なくらい、それを不満に思うことはなかつた。退職

後始めた韓国語と韓国ドラマを観ながらの編み物が細やかな楽しみになつた。

「コロナ感染」により様々な行事が中止または縮小されています。「感染防止」のためにはやむを得ないことは思いますが、それにより「人の交流」が大きく制限されています。「人との交流の中で成長する世代(こどもたち)」「人ととの交流の中での交流の中で健康を保つている世代(いわゆる高齢者)」には大きな影響が出ているように感じています。私の住む地域は高齢化率が4割を超えています。しかしながら本当に元気で生き活きとしている高齢者ばかりです。地区の活性化は高齢者の活躍にかかっています。つまり、いまのうちにたくさん飲んで楽しんでおこうという歌です。この一文を発見し、ついにんまりとしてしまいました。



古希を迎えました

柏崎支部 遠藤春治 (11)

インターネット

トで「古希」を調べたところ、

『杜甫の詩の一

節で、「酒代のつけは私が行くたるところにあるが、70年生きる人は古くから稀である」という意味。つまり、いまのうちにたくさ

り飲んで楽しんでおこうという歌です。この一文を発見し、ついにんまりとしてしまいました。

2年前に母が逝き、母の死を受け入れられない父を気遣いながらの生活が始ました。そこへ誰もが思つてもいなかつたコロナ禍。ステイホームの呼びかけに実家で過ごす時間が更に増え、暇に任せて草取りを始めた。汗まみれになりながらの作業は腱鞘炎と膝痛を対価に、なかなかの快感、達成感を与えてくれた。まさか草取りが楽しみにならうとは! 人間はどんな状況でも小さな喜びを見つけながら生きていく。しみじみそう思いながら、取つても取つても生えてくる雑草と格闘しながら退職10年目を過ごしている。

「コロナ感染」により様々な行事が中止または縮小されています。「感染防止」のためにはやむを得ないことは思いますが、それにより「人の交流」が大きく制限されています。「人との交流の中で成長する世代(こどもたち)」「人ととの交流の中で健康を保つている世代(いわゆる高齢者)」には大きな影響が出ているように感じています。私の住む地域は高齢化率が4割を超えていました。しかしながら本当に元気で生き活きとしている高齢者ばかりです。地区の活性化は高齢者の活躍にかかっています。つまり、いまのうちにたくさ

「少子・高齢化」とよく同時に語られることがあるよう思いますが、本来全く別の問題であり、それぞれにきめ細やかな対策が取らねることが必要であると感じています。

私も地域の「高齢者」の一人として「地域の活性化」に少しでも役に立ちたいと考えているところです。夢はあきらめていますが。

新津支部 大原栄亮（11）

70才を迎えるこの10年間としてこれから後何年？

新津支部 大原栄亮（11）

退職後、10年になる。
退職のとき、
その学校で、非常勤を依頼され常勤は無理だが、まだ生徒と関わっていたかったので引き受け、気がついたら今は3校目になる。

退職前の話からになるが私の家は小さなお寺で、そこで生まれ育ち、自然や理科が好きだったので可能という幸運か、逆にそれだけでは生活できなかつたとも）



男性の平均寿命はおよそ80才、私は後10年か（人は計算通りの時間が与えられていると思うのか、そんなはずないかもしれない）に）。それで5年刻みで生きようと思う。こんなことを書くと「縁起でもない」と言われそうだが、日本人は言霊に弱いからだめなのだ。だから敢えて、言葉に出して行きます、生きます。

ながらウォーキング

長岡支部 毛利一栄（11）

季節を感じな

がら4kmほどをゆっくりとやや早いを交えながら信濃川堤防のウォーキングが日課となっています。初夏は斜面を飛ぶツバメを堤防より見下ろし、今は2連結の赤とんぼが無数に飛び交うウォーキングですが、ハーピアノを弾きたいこと（経験はまつたくないが、昔からの願望だった。特に先日、「街角ピアノ」で「遠くで汽笛を聞きながら」を独学で！弾き語りしていた老人を見て感動し、強く思つた。あとは、独居老人の話を聞きたい（学ぶことが多い！）。

長生橋を渡り左岸を下り長岡大橋付近まで堤防の幅は広められています。桜が植樹された区間は隣接する公園とともに各所にベンチが置かれ私の休息の場となつていて。災害や感染症の拠点病院である長岡赤十字病院には連日救急ヘリが離着陸し対岸からもたびたび目撃される。堤防に斜線ゾーンがあります。「離着陸5分前」とアナウンスされると通行は禁止となる。

新型ウイルス感染症への不安が広がっているが、過去を振り返ると紀元前にはすでに天然痘が広が

教員になつてからは、お盆などお寺が多忙のときは父の手伝いをするだけで、普段は学校一筋だった。しかし、50代に入り住職になり学校、土日はお寺の用事で年中多忙だった。

さて、退職前の話が長くなつたが、今は非常勤講師とこの小さなお寺と、他には町内会計と気象予報士会（年数回）などが生活パターンだが、そろそろ、余生の時間を…。

男性の平均寿命はおよそ80才、私は後10年か（人は計算通りの時間が与えられていると思うのか、そんなはずないかもしれない）に）。それで5年刻みで生きようと思う。こんなことを書くと「縁起でもない」と言われそうだが、日本人は言霊に弱いからだめなのだ。だから敢えて、言葉に出して行きます、生きます。

そしてしなくてはと思うのは、貧困の若者、今、そして未来の子どもたちのために、今のひどい状況に對して少しでも何か？してから逝くこと。（これも難しい！）。こんなふうに、さて短い5年間でできるかな。

それには、フレイルを感じる最近。まず筋力と持久力を維持するため運動を始めたい。もう少し前に考えておくべきだったかな…。

侵入経路もある。

右岸を長生橋方面に歩くと、長岡にたびたび来訪し堀口大学と交流があり、「あまたある州に一つづつ水色の越の山乗る信濃川かな」と歌つた与謝野晶子の歌碑がある。昭和10年頃は木製の長生橋に並行して現在の橋が建設中であったと思われるが、与謝野晶子はどういう情景を目にしたのだろう。

いる世界地図は中心からの距離と方位が正しく表されている。北に弥彦山、南西に米山を望むことができるが、その南西方向は1945年6月に米軍が空撮し作成した「リト・モザイク」にあるB29の侵入経路である。

右岸を長生橋方面に歩くと、長岡にたびたび来訪し堀口大学と交流があり、「あまたある州に一つづつ水色の越の山乗る信濃川かな」と歌つた与謝野晶子の歌碑がある。昭和10年頃は木製の長生橋に並行して現在の橋が建設中であったと思われるが、与謝野晶子はどういう情景を目にしたのだろう。

橋付近まで堤防の幅は広められている。桜が植樹された区間は隣接する公園とともに各所にベンチが置かれ私の休息の場となつていて。災害や感染症の拠点病院である長岡赤十字病院には連日救急ヘリが離着陸し対岸からもたびたび目撃される。堤防に斜線ゾーンがあります。「離着陸5分前」とアナウンスされると通行は禁止となる。

り国家の存亡が脅かされ、日本も平安時代より大流行をくり返してきた。ワクチンが開発され2世紀かけてようやく撲滅することができた。細菌とウイルスとの戦いでもあり、新型コロナウイルスワクチンが開発されても私たちの生活にこれからも影響が続くと報道されている。日赤病院前にあり市街に向けて指さしている三島億二郎(銅像)は何を語ろうとしているのか考えさせられています



県央支部 荒井信行(11)

こんなアルバムを昔聴いていた。小さな頃から勉強しないで野球に明け暮れていた。高校野球の監督をしたいと願い採用試験を受けた。

1983年4月新潟県の高校教諭新採用は200人を優に超え社会科に於いては30人を越えていた。その中に紛れ込んだ私は幸運でした。新米教師は強豪校の新発田農業野球部部長となり貴重な経験をしていたが3年で川西高校へ、監督

になり創部初勝利の監督デビュー、その後の川西野球部の活躍は異動後夏でした。

4年で地元の加茂農林高校へ、運命のいたずらか、高校3年時の担任と教務室は背中合わせ(お互

いの為関係は秘密で通しました)居心地の良い学校でしたが校内結婚による人事で巻農業高校へ、一男一女の4人家族になりました。

妻の異動に付き合い佐渡女子高校へ、佐渡の環境の良さに家族は6人に(2男2女)なりました。6年で三条商業高校へ、最終勤務校

6年、9年を残し勧奨退職しました。

1年間の放蕩生活の後スクールバスドライバー約6年、一昨年の県議選に出馬、皆様には大変お世話になりました感謝しています、

ありがとうございました。

落選後はステイホームを実践、たまたまネットのアルバイト情報を興味ある求人を発見応募、楽し

く(例えは遠足前夜の気持ち)働いていましたが昨年のコロナ禍、2年続きの春ステイホームにはま

いりましたがまたもネット情報に頼り幾つかのアルバイトで凌ぎ、今春J RASS(新潟競馬場内C

暇なしの生活が現況です。学生の頃より色々な職種を経験しましたが今後(定年の65歳以下)の希望は経営者です。

考へているのは会員制居酒屋と物々交換フリーマーケット、シニア対象の共学(驚愕)の女子高校

!、農業(米でなく)も興味あります。

夢は見る物で先立つものは無いですがもう一回「馬」になつて走るのもちょっとだけ頭の隅つこに。

5年以上通院して、腰の方は現職の時ほど痛くなくなつたが、満足な状態ではなく長い時間の座り姿勢は苦しい。聞くところによれば、長時間の座り姿勢が、腰にはよくないようだ。若いうちに早く知りたかった。

退職かうこの方



上越支部 三浦 頸(11)

最初はとにかく整形外科に通う必要があった。

「脊柱間狭窄」によつて足がしびれ、腰も痛くて椅子に長く掛けていられない状態だったので、後輩らの誘いもあつたが再度の就職は念頭になかつた。

何しろ、整形外科ときたら、常に混んでいて文字通り「立錐の余地なし」ということがざらだから…。当然、待ち時間の長さから、現職中に通院は考えられなかつた。

何を描くのか、何を創るのか、本当にしたいことは何かを考えたい。

家仕事の初年度は「手摺や屋根の塗装」をやつた。自分が大学で学んだことは、生徒に還元できたのか?と考えながら。腰のせいで、うまくしゃがめず、はいつくばつて塗つた。あれから9年…。塗装も剥がれて、また塗装しなければならない。

の塗装」をやつた。自分が大学で学んだことは、生徒に還元できたのか?と考えながら。腰のせいで、うまくしゃがめず、はいつくばつて塗つた。あれから9年…。塗装も剥がれて、また塗装しなければならない。

来そうな今では、どの仕事も少し重荷に感じている。物忘れも昨今は気になる。

ところで、「孫」は文句なく可愛い。コロナ禍でも「スマホ」で動画を見ることができ、毎日楽しいが、早く「本物」に会いたいものだ。近くならすぐに会えるのに、遠くて残念。



退職かうこの方 まだ、続けています

新潟支部 金田文男 (11)

30代半ばでの採用で、県立2校、市立2校で社会科を担当しました。教員としては、非常勤を含めても20年ほどでした。後は、

県立文書館・博物館の開館準備・展示業務をしました。社会科教員としては、日本・世界史、政経・倫理そして今はなき現代社会を、定時制（かつての、市立明鏡高校）では地理も担当しました。地歴科の教員から政経を教えられた生徒も迷惑だったでしょう。教員に戻つてからの2005、6年頃、旗開き？が新潟会館で開催されました。講師の名前はわすれました

が、「韓国のチャンスン」を内容に講演がありました。内容が、チャンスンと道祖神を同列に扱う内容だつたと記憶しています。講師に秋葉隆「日鮮同祖論」でないかと質問をしました。講師は、こんな地方にもチャンスンを知っている人間がいるのか、というようなくなりで同祖論には踏み込めませんでした。

それ以上に、当時の進行をしていた方が、専門外、門外漢と言つたことを記憶しています。組合活動ですが、正しい歴史認識を持つ欲しかったです。まだ、民俗を調べ書いて報告しています。もし、興味関心がありましたら、県立・市立図書館でご覧になつてください。

50年の幸せ

長岡支部 小幡裕子 (11)



思えば、小学校に入学した遠い昔から今日までずっと、教えられる側から教える側へと立場は変わつたが、「学校」というものと縁が切れなかつた。そして今まで市内高校に非常勤講師としてお世話になつていて、つまり、同じ仕事を50年近く続けていることになる。50年前は生徒たちとの年齢差は4、5歳だつた。2校目の夜間定時制には年上の生徒さえいた。それがいつの間にか生徒たちはわたしの子どもと同世代となり、気

はやこれまでと一瞬思った。こういうことがあると長くこの仕事を続けてきたとつくづく思う。情勢が変化しているのでしょうか、もつと言いたいことが云える、自由な思想・信条が守られる高校・学校現場が戻ることを期待しています。

しかし、学校の現場は世の中と同じように大きく変わつた。ある日学校に行つたら、教室に電子黒板が設置されていた。典型的なアナログ人間のわたしは、急激な世の中の流れになかなかついて行けない。教科書の細かい文字は見えづらいなど、体力、知力、気力の中の流れになかなかついて行けない。教科書の細かい文字は見えづらいなど、体力、知力、気力の中の流れになかなかついて行けないと言えば嘘になるが、わたしらしい退き方をこれから模索しながら、たぶんあと少ししか残つていない幸せを楽しもうと思つてゐる。

高校に戻つてからの、2000年以降は、情勢が変化しており組合の指示に従わず、県立新潟西、市立高志高校（国体開催年で3年時だけの担任でした）、2校の卒業式で不起立。どういうわけか、処分を受けてしまいました。県とも、万歳は手を挙げませんし、不起立は極力続けています。

免許更新は、「しなくていい」

退職して10年

新発田村上支部 笠原栄二 (11)

『光陰矢のごとし』とはよく言つたものです。今はよく実感し

ています。西暦1975年、昭和50年4月新採用、県立新潟工業高校定時制(夜間)勤務。その後、豊栄高校(全日制)、新潟東高校、西新発田高校、新発田商業高校に勤務しました。2012年3月に定年退職しました。以後は、常勤、非常勤として数ヶ校に勤務。今年4月より完全フリーリーとなりました。コロナ禍で自由に出歩けなくて、家でゴロゴロすることが多い昨今です。運動不足を補うために週一回の卓球を継続し、できる限り散歩しようと思っています。

現職中の思い出は様々あります

が、20歳代の体験や経験は今でも鮮やかに蘇ります。3月4月の歓送迎会、体育祭の打ち上げ、忘暑会、その他各科ごとの旅行・飲食会等々、ことあることに飲み会と称して飲んでいた記憶があります。そのようなたびたび行われる飲み会の中で交わされる同僚や先輩後輩の日頃の体験や経験、考え方等を学んだような気がします。分会の飲み会も多々あり、気楽に2次会等に行つっていました。自由で伸びのびとした雰囲気を今まで出します。

これからは、自由な時間が持てようになつたので、クラシック

50年4月新採用、県立新潟工業高校定時制(夜間)勤務。その後、豊栄高校(全日制)、新潟東高校、西新発田高校、新発田商業高校に勤務しました。2012年3月に定年退職しました。以後は、常勤、非常勤として数ヶ校に勤務。今年4月より完全フリーリーとなりました。コロナ禍で自由に出歩けなくて、家でゴロゴロすることが多い昨今です。運動不足を補うために週一回の卓球を継続し、できる限り散歩しようと思っています。

現職中の思い出は様々あります

が、20歳代の体験や経験は今でも鮮やかに蘇ります。3月4月の歓送迎会、体育祭の打ち上げ、忘暑会、その他各科ごとの旅行・飲食会等々、ことあることに飲み会と称して飲んでいた記憶があります。そのようなたびたび行われる飲み会の中で交わされる同僚や先輩後輩の日頃の体験や経験、考え方等を学んだような気がします。分会の飲み会も多々あり、気楽に2次会等に行つていました。自由で伸びのびとした雰囲気を今まで出します。

これからは、自由な時間が持てようになつたので、クラシック

ギターを習うことにしました。市の公民館で行つてている週一回の教室です。細々ながらでも継続しようとっています。

もう一つの課題は料理です。カ

レーとギヨーザしかつくれず困っています。何とかレパートリーを増やして家族に少しは笑顔になつてもらえたらしいなあと思っています。

最後に皆様の健康とご多幸を祈ります。

光陰矢の如し

柏崎支部 三上晴美 (11)

振り返れば、

直江津工業高校

定時制から始ま



った教員生活ですが、たくさんの方に支えられ38年を全うすることができました。今考えると迷惑をかけるばかりで、恥ずかしい限りです。この紙面をお借りして、お詫びいたします。

そして、御礼申し上げます。

その罪滅ぼしというわけではありませんが、退職後はボランティアを楽しんでいます。レクリエー

ションのお手伝いやイベントに出

張たこ焼き屋などをやつてしましました。

たが、今はコロナで出番が無く、寂しい限りです。

現在は、障がいを持つ方の働く

施設で、お手伝いをさせてもらつています。

一緒に作業をする中で、思い通

りにならないと怒り出す人がいたり、何回注意されても同じ失敗をしてしまう人がいたり、最初は戸惑うこともありました。同じ時間を過ごすことで、お互いに少しずつ慣れ、今では、声をかけてもらえるようになり、休むと「どうしたの」と心配してくれます。一緒に食事をしたり、温泉に行つたりするのも楽しみです。

何の趣味もない私にとって、一番の楽しみであり、張り合いとなっています。

退職してから早10年、気がつけばあつという間でした。年を取ると、時間の流れが速く感じるといふのは本當ですね。増えたのは白髪と体重のみ。古希を迎える、急激に体の衰えを感じるようになります。

したが、

三条・加茂支部の退職者の会に勧誘されて加入し、総会で三条工業高校時代の懐かしい方々にお目にかかり、大変満足していました。それと総会後の二次会、三次会が強烈で、家にSOSを電話したものの、妻も場所がよく分からず、大変苦労をしたものの合流でき帰宅できました。当然こつひどく怒られました。そんなある年の総会後某寿司屋に連行され、自分の代わりに事務局長をやれ、ウンと言うまで帰さないと凄まれて、それで引き受けた現在に至っています。

始めは決まり事がなかなか大変でしたが、毎年提出書類はパソコンで前年分を修正して楽になつていいますが、本部の事務局にお願いします。突然書式を変更するのは止めください。また一から作らなくてはだめになり大変です。

あつという間の10年間

県央支部 増田繁雄 (11)



退職間際に三
条・加茂支部の退職者の会に勧誘されて加入し、総会で三条工業高校時代の懐かしい方々にお目にかかり、大変満足していました。それと総会後の二次会、三次会が強烈で、家にSOSを電話したものの、妻も場所がよく分からず、大変苦労をしたものの合流でき帰宅できました。当然こつひどく怒られました。そんなある年の総会後某寿司屋に連行され、自分の代わりに事務局長をやれ、ウンと言うまで帰さないと凄まれて、それで引き受けた現在に至っています。

始めは決まり事がなかなか大変でしたが、毎年提出書類はパソコンで前年分を修正して楽になつていいですが、本部の事務局にお願いします。突然書式を変更るのは止めください。また一から作らなくてはだめになり大変です。

**老いること**

新津支部

相田和文 (11)

昨年、母が他界しました。退職後は好きな時間に好きなことを

このどさくさに紛れて日帰り旅行の幹事にされてしまい、以前は一泊したらしいのですが、参加者が減ったために日帰りで県内や近県に春と秋の年2回出掛けています。毎回場所の選定に苦労しますが、今まで訪ねた所や他の方の意見を聞いたりしてやっています。時々登山もしますが、やはり高齢化が進んで、段々低山が多くなりました。

これと同時に県央地区の「退職者連合」の広報誌の編集委員も渡され、年2回のペースで広報誌を発行してきましたが、各組合に退職者の会が組織されていて、最初の頃はスムーズに原稿が集まりましたが、高齢化や亡くなられる方々で原稿が集まりづらく、最近は年1回にしました。コロナ禍で総会も開けず、広報誌が唯一の活動です。

近頃、道を通るたび必ず民家の2階の窓に目が行きます。2階の障子窓がボロボロになつている家のなんと多いことか。かつては、子供部屋だった筈、そしてその家は今はきっと、高齢の夫婦、もししくは一人暮らし、あるいは、訪問介護を受けているかも。

あるいはもう、空き家になつているかも。

母亡き後の家は空き家になります。昨年、母が他界しました。退職後は好きな時間に好きなことを

で手足が利かない母の介護で思い通りにならない毎日でした。暴力とまではいかなくとも、罵倒しあうことは日常的でした。介護の悲惨さとは、体力的、時間的なことからではなく、自身の人格崩壊のことなさだとおもいます。「自分はこんなことを言うような人間ではない」筈なのにについつい、かつてしてしまうのです。母は最終的に家を出て、施設、病院のベッドと移り、コロナ禍で誰とも顔を合わせることなく、独りきりで去つていきました。

近頃、道を通るたび必ず民家の2階の窓に目が行きます。2階の障子窓がボロボロになつている家のなんと多いことか。かつては、子供部屋だった筈、そしてその家は今はきっと、高齢の夫婦、もししくは一人暮らし、あるいは、訪問介護を受けているかも。

あるいはもう、空き家になつているかも。

母亡き後の家は空き家になります。昨年、母が他界しました。退職後は好きな時間に好きなことを

をと思つていましたが、リウマチ

に一番に感じたことでした。

今、ひょんなことから、新潟市内の高校から話があり、週2日6時間の講師をやっています。あの頃は何も感じなかつた、校舎から廊下ですれ違う時の高校生たちから「おはようございます」のあいさつ。今ではそれらがとても貴重で、新鮮に感じられる今日この頃です。古希を迎え、それでも自分がまだまだ使い物になるらしい。

私の人生の目標は大学時代に定めた。大学時代、私は大いなる挫折と絶望と虚無に直面し悩みもがき続け、そのたどり着いた先が実存哲学だった。実存哲学こそが私を絶望の淵から引き揚げてくれた。だからそれをもつと深めようと思った。同時に本命はマルクス経済学の勉強である。絶望から立ち直つた時、私は海綿体が海水を吸收入するように次々と専門書を読破した。中でもマルクスの剩余価値学説を理解した時の興奮は物凄く、眠れないほどだつた。この資本主義社会は、資本の所有者が資本を

長させてくれた。郷里の赤玉でトキのビオトープ（餌場作り）の代表を務めている。高齢になつてから草刈作業は大変で、集落内の田んぼを1枚だけ無農薬・無化粧肥料で作つてある。ヒ工取りがハンパじやない。消防部長・機械係、公民館長、自治会役員・・・。昨年から初めて11a（1反歩余）の田んぼを1枚だけ無農薬・無化粧肥料で作つてある。ヒ工取りがハンパじやない。消防部長・機械係、公民館長、自治会役員・・・。私の人生の目標は大学時代に定めた。大学時代、私は大いなる挫折と絶望と虚無に直面し悩みもがき続け、そのたどり着いた先が実存哲学だった。実存哲学こそが私を絶望の淵から引き揚げてくれた。だからそれをもつと深めようと思った。同時に本命はマルクス経済学の勉強である。絶望から立ち直つた時、私は海綿体が海水を吸收入するように次々と専門書を読破した。中でもマルクスの剩余価値学説を理解した時の興奮は物凄く、眠れないほどだつた。この資本主義社会は、資本の所有者が資本を

**マルクスと実存哲学**

佐渡支部

石崎澄夫 (11)

退職したらや

ろうと思つてい

た楽しみごとが

3つあつた。1

つは釣り、2つ目は写生、3つ目

は書の練習。しかし、退職して10

年になる今、そのどれもできてい

ないことに気付く。その理由は多忙、多忙、多忙。10年間の前半には退職前から続いた母の介護があつた。そして2007年に佐渡における部落差別をなくすために立て上げた佐渡扉の会という人権団体の運営。これはなかなか大変な作業だが、やりがいがあり私を成

長させてくれた。郷里の赤玉でトキのビオトープ（餌場作り）の代表を務めている。高齢になつてから草刈作業は大変で、集落内の田んぼを1枚だけ無農薬・無化粧肥料で作つてある。ヒ工取りがハンパじやない。消防部長・機械係、公民館長、自治会役員・・・。昨年から初めて11a（1反歩余）の田んぼを1枚だけ無農薬・無化粧肥料で作つてある。ヒ工取りがハンパじやない。消防部長・機械係、公民館長、自治会役員・・・。私の人生の目標は大学時代に定めた。大学時代、私は大いなる挫折と絶望と虚無に直面し悩みもがき続け、そのたどり着いた先が実存哲学だった。実存哲学こそが私を絶望の淵から引き揚げてくれた。だからそれをもつと深めようと思った。同時に本命はマルクス経済学の勉強である。絶望から立ち直つた時、私は海綿体が海水を吸收入するように次々と専門書を読破した。中でもマルクスの剩余価値学説を理解した時の興奮は物凄く、眠れないほどだつた。この資本主義社会は、資本の所有者が資本を



6年。京都か
たのは198
6年。私が同和問
題と向き合つ
たのは198
6年。京都か

「全てのいのちは尊い」

人権・同和センター理事長
黒田 玲

昨年度末、松尾さんが退職し、人権同和センターの事務局長になつたのを機に、退職者の会の会員に同和教育への側面支援も含めてセンター加入をお願いしました。その結果、10月末までに24人の会員が新規に加入しました。このことを踏まえ、理事長の黒田玲さんから寄稿していただきました。黒田さんは燕市福勝寺のご住職でもあり、燕工業高校在職時にお世話になつた方でもあります。

(内山)

「全てのいのちは尊い」とは誰もが認める言葉。そして有名な金子みすゞの「みんなちがつて、みんないい」も人権を考える視点として大切なことであるし誰もが納得することばであると思います。何故か私を納得させてその後の思考を停止させるほどの響きがあるようです。

だからこそ心地よく響く言葉には気をつけたいのです。

員が資本を所有する共産主義は資本主義のアンチとしての1つの答かもしだれないが、独裁者を生むプロレタリア独裁に私は反対だ。

ら帰り浄土真宗本願寺派新潟教務所に勤め、同和問題担当となつてからです。それまでは大学を含め同和教育に触れたことはありませんでした。しかし大学で京都出身の同級生との出会いは今思ひ返せば、それが出会いの始まりでした。彼の京都を案内しながら様々にエスチャードや言い回し。それが被差別部落を指す言葉や動作であつたのです。十数年の京都生活をしながらなんなく理解していた

に過ぎませんでした。そして担当者として様々な研修会や会議の席に出ることによつて現在に至つています。原稿依頼を受けて学習を受けて感じていることを記したいと思ひます。

警察官は今も昔も道徳者の代表として捉えられ苦慮した経験が多いのではないだろうか。PTAの受け良好、熱意のあまりに愛のムチを振るうこともあつた担任の先生。嫌な思いを持続している同級生も当然多い。その先生が亡くなられ既に葬儀も終わっていることを知られ、

誰もが当たり前と思うことを言葉にした意図は。本来尊ばれるべきのちが尊ばれていない。ちがつていいはずなのに、それが許されていない現実の表れであるということ。いつも優劣を計り・計られて、傷つき・傷つけた経験があるからこそその納得なのでなはないか。

そして何より計り・傷つけたその張本人はこの私であるというこど。



2021年度人権・同和センター理事会・幹事会
で挨拶する黒田理事長

クラスの代表として自宅へお悔やみの挨拶に伺つたところ「あなた達も大変だったでしょうね。ご苦労さまでした。家と同じようにしてたと思いますよ。」と返された。何故かその時自分と先生の距離が縮まつた気がしたのでした。

現役の僧侶である私は家族の中で一番の人権侵害者・差別者として指摘されること暫しあり、世間からの見られ方は違うはずなのです。そんなことで悩む方もおられると思います。ただ私にとって有り難いのは学習の場が多くあることです。解放運動に触れなければ今の自分はなかつた。自分はなかつた。もつと早く気づいて先生と人権問題を語り合えば。「何事も生涯学習だ!」と言われた言葉を思い出すのです。

クラスの代表として自宅へお悔やみの挨拶に伺つたところ「あなた達も大変だったでしょうね。ご苦労さまでした。家と同じようにしてたと思いますよ。」と返された。何故かその時自分と先生の距離が縮まつた気がしたのでした。

※告知等

日本経済新聞2021年9月2日夕刊10面の「セカンドステージ」欄に「失明の元教師、研究の道へ・障害者支える社会を探る」という記事が掲載されました。

退職者の会新潟支部の会員・栗川治さん(19)と中村雅也さん(東京大学)を取材した記事をご本人と新聞社の了解を得て掲載します。



障害者支える社会を探求

「失明の元教師、研究の道へ」

東京パラリン

ピックで、世界

から障害者アス

リートが集まっ

た。でも、この国は障害者にどれだけ向き合つただろうか。

視覚障害を持つ元教師が研究者の道を歩み出した。自身の経験をもとに、障害者の権利保障や就労、教育のあり方を問い合わせ続けている。

新潟市の元高校教員、栗川治さん(61)は、現存する点字図書館

で国内最古となる「姉崎文庫」(現在の新潟県視覚障害者情報センター)に光を当てた。

1920年に点字本をそろえた文庫を開設した姉崎惣十郎の生涯を調査。

姉崎が柏崎市で教員をしながら、全国の障害者に蔵書を郵送で貸し出した業績を掘り起こし、冊子にまとめた。

「偉大な先人の息吹に触れ、感謝の気持ちでいっぱいになった」と話す。

栗川さんは2018年から立命

館大学大学院先端総合学術研究科

で、障害者運動史を研究している。

教員時代の20代後半に失明し、盲学校に異動したが、普通校での勤務を希望して数年がかりで実現。

サポート教員をつけてもらって教員を続け、20年春に定年退職した。

障害者問題を研究しながら、教員生活を全うしたこと。「障害を持つ先輩教員らの努力と周囲の支援のおかげ」と振り返る。

これまで「障害があるからといってあきらめず、やりたいことはやつてきた栗川治」。新潟市の合唱団に入り、点字の楽譜で歌い、多くの演奏会に出演した。

「周囲は最初、戸惑うけれど、やがて理解が深まり、皆が工夫してくれる」。何事にも積極的に挑戦していく栗川治。

新潟市の合

唱団に入り、点字の楽譜で歌い、多くの演奏会に出演した。

「周囲は最初、戸惑うけれど、やがて理解が深まり、皆が工夫し

戦してきた栗川さんの流儀である。東京大学先端科学技術研究センター研究員の中村雅也さん(56)は、障害のある教員の視座から教育を問い合わせ直す「障害教師論」という学問領域を切り開いた。

大阪、徳島、奈良で教員を務めた中村さんは、40歳ごろから視覚障害で読み書きが不自由になり、うつ病にもなって、08年に退職した。

その後、鍼灸(しんきゅう)・マッサージの資格を取るために京都市の施設に入所。施設の近くの立命館大学院に障害社会学の講座があることを知り、入学した。

自身が体験した生きづらさの原因を探るため、障害を持つ教員や元教員を訪ね歩いた。

その数は50人を超えて、研究成果をまとめて博士号を取得。20年に「障害教師論」として出版した。

中村さんは、障害の有無にかかわらず共に学ぶ「インクルーシブ教育」のあり方にも切り込む。

「障害のある子どもを普通学級に入れるだけでは不十分。障害のある教師がいることで、共に生きる学校づくりが進展する」と指摘する。

そして「今後は教師だけでなく、障害者全体の就労支援、教育のあり方を問い合わせ直していきたい」と語る。

趣味はマラソン。フルマラソンに70回以上出場し、大阪の「水都大阪100キロドレブルトラマラニック」にも10年連続で出て完走した。

「マラソンは全国の視覚障害ランナーや伴走者など人間関係が広がり、そのつながりはかけがえのないものになる」と話す。

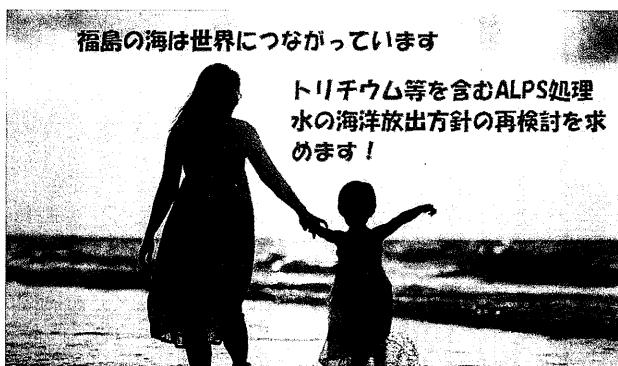
20年に東京に移つてから、新型コロナウイルスの感染拡大で満足に走れていない。「コロナが収まれば、東京でもランニング仲間を増やしたい」と笑った。

(杉野耕一)

スペースの関係で「障害者雇用に関するサイド記事」は省略させて頂きました。

■呼びかけ団体「原発のない福島を!県民大集会」実行委員会
■呼びかけ趣旨(一部)トリチウム等を含むALPS処理水の海洋放出は、風評再発の問題のみなら

■トリチウム等を含むALPS処理水の海洋放出方針の再検討を求める署名の取り組みはchange.orgでも行っています



■県民大集会」実行委員会事務局
TEL 024・522・6101
■署名期間 第一次集約 2021年9月末、以降奇数月の月末毎に集約

■会長、選考委員。最後の選考委員会、43年の歴史に幕

連合第29回定期大会（8月23日）半数の代議員で開催。会長、事務局長など役員交代

（8月25日）「通信140」最終校正、入稿 ■「2署名」を一旦集計して高教組に提出（8月25日）

・東京電力・柏崎刈羽原発の「設置許可取り消し」を求める署名：54枚・236筆。・「原発再稼働の是非を県民が決める」署名：68枚・303筆。ご協力ありがとうございました。 ■『通信140』

支部へ発送（9月1日）625部。

■人権・同和センターに加入のお願い」を同封。事務局会議 ■教育をよくする県民会議第10回定期大会（9月7日）コロナ禍で書面議決に、幹事は引き続き木村会長

■新高教が43年に渡り、「主任制反対闘争」とセットで取り組んできた希望奨学金が終わりを告げた。組織率低下がその一番の原因となれば、「闘う高教組」時代を背負つてきた退職者の会の会員にとっては忸怩たる思いがあろう。

希望奨学金に終止符

馬場 行男さん（14）
(新発田・村上支部) 8・29

佐野 威男さん（90）
(新潟支部) 9・19

ご冥福をお祈りします

（括弧内は現職退職年）

新会員・退職10年会員の寄稿

■事務局会議（9月29日）『通信141』編集会議 ■第27回五者合同学習会（10月7日）youtubeで視聴。講演「ハイスピーチ根絶への次の一步を」（石橋学さん・神奈川新聞川崎総局編集委員）は大変内容があつた ■第27回日退教組織活動交流集会（10月8日）youtubeで視聴。

■事務局会議（10月13日）（石野）

分校での、生徒と教師のほほえましい関わりが、目に見えるような具体的な話で綴られている。こんな状況でこそ、教師も生徒と共に育つんだろうと思う。

リレートーク

退職者の会会員に感謝しておられ、今回原稿を書いていただくことになった。ともすればなるべく自分をよく見せていたい私にとって、自らを「人権侵害者・差別者」と自覚できる心の広さに感動である。（内山）

黒田玲さんから

活動がない中、原稿不足を危ぶんだが、事務局の苦労が理解され多くの会員から原稿を頂いた。ありがたいことで感謝する。

活動がない中、原稿不足を危ぶんだが、事務局の苦労が理解され多くの会員から原稿を頂いた。ありがたいことで感謝する。